

# ひらた医院NEWS

2010年9月12日  
第138号

## 胃がんのほとんどはピロリ菌の感染が原因

団塊の世代で感染率が高い！と言われていますが感染経路は未だ不明です。ピロリ菌の経口摂取により胃炎が生じることは明らか、生育できるのは胃粘膜のみ、というところから経口感染が大半を占めていると言えます。健康人の感染率は年代が増すごとに上昇することが明らかですが、国や地域で大きな差があります。わが国では一〇〜二〇歳代の若い世代では二〇%と低いのに対し、五〇〜六〇歳代前半の団塊の世代では八〇%と極めて高い感染率です。

大きな注目を集めているのはピロリ菌感染と胃がんの関わりです。一九九四年にWHOはピロリ菌を確実な発がん性物質に指定しました。

胃がんは正常な胃粘膜からは発生せず、慢性萎縮性胃炎や腸上皮化生のある粘膜から発生しやすいことが明らかになっています。ピロリ菌に感染していなければ胃粘膜萎縮は発生しにくく、胃がんの発生率も低くなります。

このようなことからピロリ菌感染者全員が治療の対象となるわけです。除菌に成功すると組織学的胃炎が改善して胃・十二指腸潰瘍や胃がんなどの予防に結びつけることが出来ます。予防医学の観点からも感染者全員が治療の対象となるのです。端的に言うとう、一次予防としてのピロリ菌除菌と、二次予防としての内視鏡検診を組み合わせて行うことで胃がんによる死亡者は一〇年以内に一〇分の一に減少させることが出来ると言われていています。

胃がん、食道がん、大腸がんを早期に見つけることを使命だと思ひ、私は毎日内視鏡検査を行っております。当たり前ですが、「治る病気を見つければ治る！」手遅れになる前に検査をお受け頂きたいと願っています。

院長 平田 孝浩

ひらた医院は医療を通じて社会に貢献いたします。

### 【日曜診療のお知らせ】

♪ 9月26日 10月31日 ♪

診療いたします  
(9:00~18:00)

### 【時間外の対応について】

電話は転送されますので、時間外でも電話対応出来ます。緊急の際にはお電話下さい。また、留守録にお名前を残しておいて下さい。命に関わる事態の際は返信を待たず、救急病院へ向かって下さい。

日	月	火	水	木	金	土
~ H22年 9月 ~						
12 休診	13	14	15	16 AM	17	18
19 休診	20	21	22	23 AM	24	25
26 診療	27 CT	28	29	30 AM	10/1	2
3 休診	4	5	6	7 AM	8	9

- 次のヘリカルCT 9/27(月)9時~です
- 胃カメラ・大腸カメラの検査は毎日行っています
- 9/26(日)は診療いたします

内視鏡検査は毎日行っております。ご予約はお電話で(^)

#### 《診療体制》

毎週水曜日のAMは安江和彦先生（診療予定日は9/15・22・29・10/6 です）

毎月第3金曜日のAMは野口剛先生（診療予定日は 9/17・10/22 です）

の診療日です。院長と診療を並行して行っています (^)

### 医療法人 健愛会

## ひらた医院

胃腸科・肛門科・内科・外科

〒870-1143 大分市田尻 478

☎097-548-7616

予約専用☎097-547-8813

☎http://www.hirataiin.com

診療時間：9時~18時

休診：日曜・祝日・木曜午後

急患：この限りではありません

院長 医学博士 平田 孝浩

外科専門医

消化器外科認定医

平成14年7月1日 開院